第29回優秀経営者顕彰

きょう贈賞式

日刊工業新聞社が先に決定した「第29回優秀経営者顕彰」の贈賞式が、きょう19日、東京・飯田橋のホテルグランドパレスで行われる。同顕彰制度は優れた経営手腕により企業を成長させ、日本経済の発展と地域社会に大きく貢献したモノづくり関連の中堅・中小企業の経営者を顕彰する。今回で29回目を迎え、総受賞者は448人を数える。

最優秀経営者賞に山崎氏

優秀経営者顕彰の選考対象は、創業10年以上を経過し、資本金5億円未満もしくは従業員100人未満の非上場の中堅・中小企業経営者で、地方自治体および産業経済諸団体、各地域の産業人クラブまたは金融機関、日刊工業新聞社の推薦をもとに、選考委員会（森下洋一委員長＝パナソニック相談役）が候補者を審査し、受賞者26人を決定した。

各賞の受賞者には日刊工業新聞社から表彰盾が贈られる。

最優秀経営者賞

日本ピスコ社長　山崎　清康氏

創業から35年間、事業展開と営業基盤の確立に注力してきた。空気圧関連機器の製造・販売の事業を手掛け、卓越した経営手腕で優良な財務体質を構築。リーマン・ショックによる厳しい経営環境化でも黒字を確保し、安定した収益体質を維持。少量な需要でも製品の在庫を持ち、顧客の要望に応えられる体制を整えている。顧客の立場に立ったモノづくりに向け研究開発に注力し、信頼を強める。また、工場に太陽光発電システムを導入し、持続可能な社会と企業づくりを目指している。雇用維持を重視し、収益還元を行い、地域の経済力向上に貢献している。

受賞者の横顔

こうした活動により経営基盤を強め、11年5月期は過去最高の売上高となった。

包装機械には異物混入を防ぐ高い安全・効率性が求められる。優れた設計・開発力を持ち、顧客の多様なニーズに対応が可能だ。今後は中国、欧州、北米でのシェアを拡大し、海外事業を強化していく。包装機械業界の団体では役員を務め、業界の発展に寄与する。

優秀経営者賞

大森機械工業社長　大森　利夫氏

品・日用雑貨など幅広い分野で活用される各種自動包装機械を提供する。

持続的な発展に向け次世代を担う人材育成に力を入れる。2008年の社長就任から「大森経営塾」を開き、従業員のレベルアップを図る。

モリマシナリー会長　森　徹氏

成形ロール機や自動工具交換装置（ATC）などの各種設計・開発から販売までトータルに手掛け、食品・医薬金属加工機械装置の製造・販売に加え、船用ディーゼルエンジン部品および自動車用部品の製造を手掛ける。鉄鋼、自動車、工作機械などの幅広い業界に製品を供給し、日本のモノづくりを支えている。また、大学などと連携し、最先端の技術・製品開発を進める。

1974年の社長就任から、業績は増収増益で推移。リーマン・ショックの影響により景況悪化を受けたものの、すぐに経営を立て直した。

岡山県の公職、工業団体の理事を務め、地域社会・産業の発展に貢献してきた。地元を代表する経営者として活躍する。

関ケ原製作所会長　矢橋　昭三郎氏

鉱山機械用の油圧シリンダー、精密石材製品、船舶用各種クレーンなど多様な製品を製造。主要製品はニッチな分野であるが、高い技術性から他社の追随を許さない。

「限りなく人間ひろばを求めて」を基本理念とし、職場をただ働く場所ではなく、多くの時間を過ごす生活空間と捉え、〝人〟を主体とした企業を目指す。

リーマン・ショック時にはリストラを行わず、従業員の教育に注力し、より強固な事業体制を構築した。

従業員一人ひとりを尊重する民主的経営を実践。個々人の知恵を集め、またチームとして新しい知恵を生み出す「チーム知経営」への転換を進めている。

優秀創業者賞

メトロール技術顧問　松橋　章氏

51歳で部下2人と独立し、検査装置の開発会社を設立した。接触センサーを自社ブランド化し、工作機械用途で世界シェア7割まで育てた。

創業の受託開発時代は自身が営業と設計を兼ね、全国を回りながら図面を描いた。一時は事業を売却して引退しようと、会社の資産査定を頼むまで追い詰められたが、旋盤用刃先センサーのヒットで経営が安定する。60歳で受託開発からセンサーメーカーに転じ、メトロールブランドを展開する。いまでは70社以上の工作機械メーカーに採用され、30万台以上の装置に搭載されている。

現在は設計・開発の後継育成に力を注ぎ、自身も新製品の図面を引く。

横山基礎工事社長　横山　弘介氏

未経験であった基礎工事の分野で創業。海外の掘削機器を導入し、それまで困難であった固い地盤での掘削を可能にした。また、同機器を工事車両に取り付けるなど、基礎工事の可能性を高めた。創意工夫で課題を乗り越えてきた。

複数の特許を持ち、独自の技術基盤を確立。高所での作業場を仮設で実現するLIBRA工法などの革新的な工法が認知され、建設不況の中でも好調な業績を維持している。

また、地域雇用の創出、業界団体の役員の任務など、地域経済をけん引している。

困難な要望に応える姿勢と実績が評価され、顧客からの信頼は厚い。

日本メディカルプロダクツ会長　山本　信男氏

お産用ナプキンを製品化し、大日本紙綿を設立。ベビーブームを追い風に順調な経営を続けていった。その後、「不織布」に着目し、新規事業に取り組み始める。

細菌の大幅なカットと優れた通気性の特徴を生かし、医療用マスクの製品開発を行う。製造装置も自身で開発する。

1973年には日本メディカルプロダクツを設立。何度か経営危機にも見舞われたが、自らが全国の医療機関に営業するなど、製品の販売拡大に奔走する。

「hopes」ブランドの医療向け不織布製品は全国約6000カ所の医療機関で活用され、業界では必要不可欠な製品となっている。

研究開発者賞

森鐵工所社長　森　春樹氏

販売し、世界シェア40％以上を占める。リスク分散を図るため、国内だけでなく海外市場への進出を積極的に図る。自らの語学力を生かした営業が武器となり、世界的な優良企業との取引を続ける。

タイヤメーカーからの工程の効率化、品質・耐久性向上の要望に応えるため、ゴムの巻きつけから取り外しまでの全自動化など、効率・省力・軽量化を実現させる。

また、主要部品に互換性を持たせ、特定部品の定期交換を可能にし、稼働寿命を延ばした。

経営管理体制や社内の規律を見直して、職場環境の改善に成功している。

青年経営者賞

横山香料社長　横山　千秋氏

祖父、父から受け継ぎ、創業以来、最高品質の天然香料製品を開発・生産している。

社内で講習会を開催するなど組織改革に力を入れる。また、食品添加物の製造・品質・安全管理に関する業界自主標準であるGMPを取得。より安全・安心な製品づくりに向けて、危害分析重要管理点（HACCP）や食品安全マネジメントシステムの国際規格「ISO22000」の認証も取得した。

今後は果汁をベースにした新素材の開発や、管理職教育の充実を図った計画的な人材育成を目指していく。ほかにも、韓国、台湾だけでなく中国への積極的な進出にも注力していく。

女性経営者賞

昭和精機社長　藤浪　芳子氏

空圧、油圧などの制御機器を扱う自立メーカーを目指し、大手メーカーとの直接取引の実現、韓国・台湾・中国・米国との直接取引の開拓、組織の拡大など、さまざまな取り組みを行ってきた。同時に独自技術・製品の開発にも注力。顧客から高い評価を受けている。

阪神・淡路大震災による被災やリーマン・ショックなどの厳しい環境下でも、従業員を解雇することなく乗り越えてきた。

神戸商工会議所の女性経営者倶楽部の会長など多数の公職を務め、女性経営者の交流を通じ、連携強化に尽力する。今後も女性が働きやすく、能力を発揮できる職場環境の整備を進めていく。

第29回優秀経営者顕彰

―受賞者―

最優秀経営者賞

山崎　清康
株式会社 日本ピスコ　社長
〒三九四―〇〇八九
長野県岡谷市長地出早三―九―三二
☎〇二六五（七四）八八〇一

優秀経営者賞

大森　利夫
大森機械工業株式会社　社長
〒三四三―〇八二二
埼玉県越谷市西方二七六一
☎〇四八（九八八）二二一一

森　徹
モリマシナリー株式会社　会長
〒七〇一―二四三四
岡山県赤磐市仁堀東一三八三
☎〇八六（九五八）二三五二

矢橋　昭三郎
株式会社 関ケ原製作所　会長
〒五〇三―一五九三
岐阜県不破郡関ケ原町二〇六七
☎〇五八四（四三）一二一二

優秀創業者賞

松橋　章
株式会社 メトロール　技術顧問
〒一九〇―〇〇一一
東京都立川市高松町一―一〇〇
☎〇四二（五二七）三三一七八

横山　弘介
株式会社 横山基礎工事　社長
〒六七九―五三〇三
兵庫県佐用郡佐用町真盛二八五―二
☎〇七九〇（八二）二二一五

優秀創業者賞

山本　信男
日本メディカルプロダクツ株式会社　会長
〒〇七八―八二三二
北海道旭川市豊岡二条四―四―一四
☎〇一六六（三二）五三二〇

研究開発者賞

森　春樹
株式会社 森鐵工所　社長
〒八三〇―〇〇四九
福岡県久留米市大石町一八
☎〇九四二（三五）一二六六

青年経営者賞

横山　千秋
横山香料株式会社　社長
〒一〇一―〇〇四七
東京都千代田区内神田二―八―七
☎〇三（三二五六）〇〇〇三

女性経営者賞

藤浪　芳子
昭和精機株式会社　社長
〒六五一―二二七一
兵庫県神戸市西区高塚台六―一九―一三
☎〇七八（九九七）〇五五一

地域社会貢献者賞

長尾　明
アドバン工業株式会社　社長
〒六四〇―八四四一
和歌山県和歌山市栄谷八八二
☎〇七三（四五一）三三一一二

加古　公一
株式会社 カコテクノス　会長
〒六五四―〇〇二四
兵庫県神戸市須磨区大田町七―四―二
☎〇七八（七三二）三八五一